

日米親善春祭りで募集広報 厚木航空基地に5万5千人



海上自衛隊の迷彩服を着た隊員との記念撮影



説明に追われる広報官



夏の礼装姿の基地隊司令

神奈川地本厚木募集案内所（所長 小谷 2海尉）は、5月3日（土）厚木航空基地において、在日米海軍主催の「日米親善春祭り2014」に参加し、近隣事務所等（平塚、相模原、小田原、川崎）及び厚木募集相談員や父兄会からの応援を得て、募集広報を実施した。

海上自衛隊の制服の試着体験では、厚木航空基地隊司令が礼装姿で参上、モデルとなっていた。また、飛行服や青い迷彩服姿の隊員がブースに立ち寄り、各種制服が勢揃いした。ブースには、50名を超える方が入隊に関する説明を受けるために訪れる等、多数が来場するイベントの効果を感じた。

厚木募集案内所は、「今後も多くの人に直接触れ合える機会を活用し、自衛隊の活動を広くPRして、神奈川地本としての目標達成に向け、まい進していく」としている。

大船祭りで自衛隊をPR



自衛隊広報ブース



神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 藤田准陸尉）は、5月11日（日）、鎌倉市主催の大船祭りに参加し、募集広報を行った。

イベントでは、鎌倉女子大学中高等部マーチングバンドを先頭に鎌倉市長・ミス鎌倉・婦人会・子ども神輿などのパレード、鎌倉芸術館オープンハウス、コンサートライヴ、フリーマーケット、模擬売店、子供の一輪車演技、はしご車体験など、盛りだくさんのアトラクションが行われた。

募集広報として、海上自衛隊の制服の試着及び記念写真コーナーを設置したが、行列が出来る大盛況となった。

藤沢募集案内所は、「今後も、イベントに積極的に参加し、鎌倉、湘南地区に自衛隊をPRし、募集及び防衛基盤の拡充に努めていく」としている。

座間駐屯地で部隊研修支援



中央即応集団司令部におけるブリーフィング



防空壕の見学

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、5月16日（金）、陸上自衛隊座間駐屯地において実施された小田原市新玉交通安全母の会の部隊研修を支援した。

研修には、会員47名が参加し、中央即応集団司令部において、災害派遣活動に関するブリーフィング、相武台の石碑・防空壕・資料館の見学及び体験喫食を行い、自衛隊に対する理解を深めた。

小田原地域事務所は、「今後も、部隊研修を積極的に支援し、西湘地区における自衛隊に対する理解の深化及び自衛官募集環境の向上につなげていきたい」としている。